

くずは

2023. 7. 10

発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

今月の話題「国内外来種(国内移入種)カワムツ」

先日、葛葉川を含む金目川水系の室川で、私が子供の頃には、図鑑でしか見たことがなかったカワムツという魚が捕れました。調べてみると、1983年に生命の星・地球博物館から発行された、神奈川自然史資料「平塚市の淡水魚類」にはカワムツの記録はありません。ところが、2018年に発行された、金目川の魚類(西巻肖・北野忠 東海大学)にはカワムツの記録があり、2017年11月に金目川で初めて確認されたとされています。2017年以降、カワムツは金目川水系で分布を拡大し、現在では流域全体で広く見られるようになり、かなり多数が生息しているようです。

カワムツは本来ならば、能登半島と天竜川水系よりも西側の本州、四国、九州に分布していて、琵琶湖産稚鮎の放流に伴って、東日本にも分布を広げているようです。しかし、漁業協同組合が無く、アユの放流事業は行われていない金目川水系に、なぜカワムツが生息しているのかたいへん不思議に思いました。そこでインターネット検索を行い、アユの放流が行われている相模川と、この金目川水系をむすぶ水路が無いか調べてみました。世の中にはいろいろなことに興味を持っている人がいるようで、相模川から取水し、伊勢原、平塚まで水を送っている農業用水路について、実際に歩いて調べ、ネット上に報告している人のブログ(散歩の途中・相模川右岸用水を歩く、2018年)にたどり着きました。

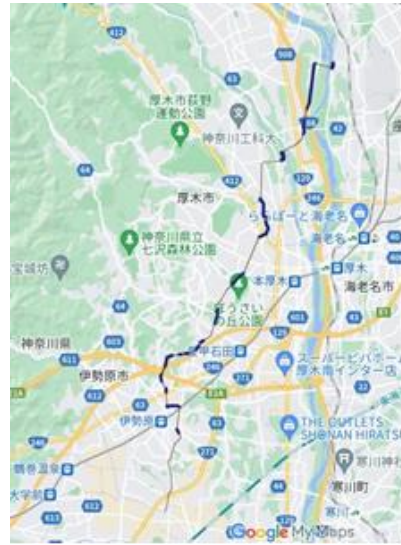
右岸用水は、相模原市南区で取水した水を相模川右岸(相模川の西側一帯、厚木市、伊勢原市、平塚市)の田畑に供給し、末端は平塚市まで続く、約20キロの距離におよぶ長い疎水です。1949(昭和24)年に着工し1958(昭和33)年に完成した、戦後になってできた新しい農業用水

です。この用水路により、相模川の水は金目川水系に流れ込んでいることが分かりました。おそらく、稚鮎の放流に伴って相模川に入ったカワムツは、この用水路を通して金目川水系に入ったのでしょう。

また、伊勢原市高森を流れる歌川で、現在、野生状態ではほぼ絶滅しているメダカの群れを見つけ、捕まえたことがあります。これなども「金目川の魚類」によれば「現在、金目川で見られる個体は放流によるものと考えられる。」とされていますが、相模川からの移動ということも考えられるのではないのでしょうか？

本来、今生息している河川から別の河川には移動できない淡水魚が、人が作った用水路環境を利用し分布を拡大する、これなども人が運んでいると言えるのでしょうか？

文：くずはの広場所長 高橋孝洋



行事報告



6/11(日) 知って安心ヤマビルの生態 (23人)



6/24(土) 石をみかいて観察しよう! (26人)

参加者の声

- ・ヤマビルがとてもおもしろくて、とても元気でよかったです。70グラムも持ち上がってビックルしました。
- ・ヤマビルの伸び縮みにビックリ。また吸いつく力の強さもこれほど強いとは思わなかった。今まで怖がって、嫌ってばかりいたが観察して少しかわいくなり興味がわいてきた。(知って安心自分で調べるヤマビルの秘密)
- ・石をみかいてけんぴきょうで拡大すると、とてもきれいに見れてうれしかった。石がおもしろくなりました。
- ・石が好きな子なので参加させてもらいました。石が輝くのと同時に子どもの瞳もキラキラ輝いてとても良い時間をすごせました。(石をみかいて観察しよう!)

くずはの家 夏休み自然教室案内

※保護者同伴：②は3年生以下、⑧は4年生以下、⑤と⑩は6年生以下
 その他は小学2年生以下は保護者同伴です。
 抽選の申し込み受付は7/9に終了しました。定員に達していないものは12日より先着順で受け付けます。空き状況はHPをご確認ください。



テーマ	日時・対象
①水生生物教室 @東公民館付近の金目川	7月21日(金) 9:00~12:00 小学生24名
②鳥の巣のお話と工作	7月22日(土) 9:30~11:30 小学生以上25名
③親子で水遊び~竹の水でっぼう作り~	7月23日(日) 9:30~12:00 親子30名
④葉っぱのたたき染めに挑戦	7月27日(木) 9:30~12:00 小学生以上20名
⑤セミの羽化観察	7月29日(土) 18:30~20:30 どなたでも30名
⑥土の中の生き物さがし	7月30日(日) 9:30~11:30 小学生以上20名
⑦ちびっこあつまれ! 虫さがし	8月5日(土) 10:00~11:30 3~6才の幼児と保護者20名
⑧くずは川探検	8月6日(日) 9:30~12:00 小学生以上30名
⑨クモのふしぎ大発見!	8月11日(金・祝) 9:30~11:30 小学生以上20名
⑩ナイトウォッチング	8月19日(土) 18:30~20:30 小学生以上30名
⑪植物のふしぎ発見!	8月26日(土) 9:30~11:30 小学生以上20名

写真は昨年の様子 ▶

左:「葉っぱのたたき染めに挑戦」 右:「セミの羽化観察」



補足 外来種とは何か？

「本来生息していなかった場所へ人間によって運ばれ、人間の管理下でない生きもの」のことを外来種といいます。運ばれ方は意図的か(人間が運んで放流)、意図的でないか(海外からの荷物にくっついて移動)を問いません。生きものが元々持っている移動能力を超え、人間の力で運ばれたものを指すことばです。

国外だけでなく、国内の別の地域から持ち込まれた生きものも外来種です(これは『国内外来種』または『国内移入種』と呼ばれます)。

(山形県鶴岡市のHPより)

行事へのお申し込み・お問い合わせは
 電話・FAX・メールで
 TEL&FAX 0463(84)7874
 E-mail, kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp
 7月の休館日
 3日、10日、18日、19日、24日、31日
 8月の休館日
 7日、14日、15日、21日、28日
<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/>
 秦野市のHPの公共施設案内にくずはの家HPがあります!

秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家のボランティア活動

☆6月の活動

定例会:6/4(日)は、薪割りチームと梅林草刈りチームに分かれて作業しました。割ったケヤキの薪はとても良い香りがしました。

6/15(木)は、毎年恒例のヤマビル調査を行いました。広場全体で19匹捕獲されました。

花壇の会:6/4は雨で中止、6/23(金)に草取りと解説板の設置をおこないました。

とんぼのせせらぎ:6/22(木) くずは川対岸のぼたるの里で、茂ったササを刈り取りました。

☆これからの活動

定例会:7/20(木)、9/3(日)、9/21(木)

※8月の定例活動は夏休みのため、お休みです。

花壇の会:8/4(金)早朝草取り、9/1(金)

とんぼのせせらぎ:8/24(木)、9/28(木)

この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。

くずはの広場観察路マップ

2023年7月3日調べ

①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

- 凡例
- △ つぼみ
 - ▲ 咲き始め
 - 開花
 - ◎ 満開
 - 咲き終わり
 - ◇ 実
 - ◆ 熟した実

- 川原
- コセンダングサ
 - コマツヨイグサ
 - アレチギンギシ
 - ヒメヒオウギズイセン
 - ムシトリナデシコ
 - ツユクサ
 - △ダンドボロギク



6月の野鳥
(5月30日～7月3日調べ)

- 1、マガモ
- 2、カルガモ
- 3、キジバト
- 4、アオバト
- 5、カワウ
- 6、ホトトギス
- 7、カワセミ
- 8、コゲラ
- 9、アオゲラ
- 10、リュウキュウサンショウクイ
- 11、ハシボソガラス
- 12、ハシブトガラス
- 13、ヤマガラ
- 14、シジュウカラ
- 15、ツバメ
- 16、ヒヨドリ
- 17、ウグイス
- 18、エナガ
- 19、メジロ
- 20、ムクドリ
- 21、キビタキ
- 22、スズメ
- 23、キセキレイ
- 24、ハクセキレイ
- 25、セグロセキレイ
- 26、カワラヒワ
- 27、コジュケイ
- 28、ガビチョウ

6月の昆虫

- カストムシの仲間**
- ノコギリクワガタ
 - コクワガタ
 - クロコガネ
 - コクロコガネ
 - ナガチャコガネ
 - ヒメカンショコガネ
 - カナブン
 - ドウガネブイブイ
 - キマワリ
 - シロスジカミキリ
 - ノコギリカミキリ
 - アオカミキリ
 - ピロウドカミキリ
 - カミキリモドキの仲間
 - ヤマトタムシ
 - アオオサムシ
 - アカホシテントウ
 - アミダテントウ
 - ルイヨウマダラテントウ
 - ハラグロオオテントウ
 - ムーアシロホシテントウ
- チョウ・ガの仲間**
- アオスジアゲハ
 - モンシロチョウ
 - キタキチョウ
 - オオムラサキ
 - コムスジ
- ハチ・アブ・ハエの仲間**
- オオスズメバチ
 - セグロアシナガバチ



ヤマユリ

くずはの広場トピックス

ゲンジボタル放流…6月6日～13日
6/4、復活を目指していたゲンジボタルの卵が孵化し始め、1～2mmほどの幼虫を合計4324匹放流しました。どのくらい生き残ってくれるでしょうか？来年が楽しみです。

キビタキ繁殖…6月21日
キビタキの幼鳥にエサを運ぶオスの姿が見られ、葛葉緑地での繁殖が確認出来ました。

ニイニイゼミ初鳴き…6月29日
今年は早くから初夏の花が咲き出していましたが、ニイニイゼミの出現は平年並みでした。地中生活では気温の影響を受けにくいのかな？他の昆虫はどうなのかな？植物と昆虫の関係が気になりますが、セミ以外の昆虫は初と終わりの記録をとっていません。残念！

- バッタ・キリギリスの仲間**
- ショウリョウバッタ幼虫
 - ツチイナゴ
 - ナキイナゴ
 - ハラヒシバッタ
 - エゾツユムシ
 - ヤマクダマキモドキ幼虫
- トンボの仲間**
- クロスジギンヤンマ
 - ヤブヤンマ

- カメムシの仲間**
- ハリカメムシ
 - マルカメムシ
 - ニイニイゼミ
 - マルウンカ
 - コセアカアメンボ
 - ヤスマツアメンボ
 - ツマグロオオヨコバイ
 - アオバハゴロモ幼虫
- その他の仲間**
- ナナフシモドキ
 - チャタテムシの仲間